

# 《ヒナの愛称 一般公募を開始》

## 今年誕生のコウノトリに 親しみある愛称を

市では、今年生まれたコウノトリのヒナ1羽の愛称を一般公募する。

国の特別天然記念物であり、市の自然再生（生物多様性）のシンボルであるコウノトリを身近に感じ、親しみを深めてもらい、市の取り組みに理解と支援をいただきたいと考えている。

募集期間は、令和4年6月8日から6月24日までの17日間。

市は、ヒナに親しみのある愛称をつけることで、野田市生まれのコウノトリへの愛着を深めるとともに、認知度を高め、将来を担う子ども達に興味を持ってもらうことを期待している。

### ●愛称募集の概要

- 1 募集期間 令和4年6月8日（水）から6月24日（金）  
（郵送の場合は、当日消印有効）
- 2 募集方法 一般公募
- 3 応募方法  
性別が判明していないため、オス1点、メス1点の計2点まで募集
  - ・ヒナの愛称及び応募した愛称を思いついた理由
  - ・今回はひらがな表記で募集（ひらがなとカタカナを交互に募集している）
  - ・はがき、電子メール、応募用紙で応募（一人1口）※詳細は、別添募集要項のとおり
- 4 選考方法  
選考は2段階で行うこととする。
  - 一次選考：一般公募した愛称一覧から、事務局が重複や対象外を整理し、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会委員に、1人5点程度選考してもらい、取りまとめの上、上位5点を選出。同点の場合は会長一任。
  - 最終選考：一次選考した愛称候補の中から、野田市内の小学生による投票にて、得票順で愛称を決定し命名する。
- 5 発表  
放鳥にあわせて発表
- 6 記念品等の配布  
一次選考通過者に記念品を贈呈し、市内小学生には参加賞を贈呈する予定

## ●ヒナのふ化から現在の様子

令和4年5月10日 秋田市大森山動物園から卵を移送、親鳥へ托卵

令和4年5月12日 ヒナのふ化を確認

誕生したヒナは、元気に餌を食べており、飼育観察棟からコウくん、コウちゃんの子育ての様子を見学することができる。

なお、順調に行けば、7月上旬に巣立ちを迎え、7月下旬から8月上旬には放鳥できる見込みである。

## ●放鳥した10羽の最近の滞在状況

2022年5月30日現在

未来 : 茨城県神栖市・千葉県旭市付近 (2022年4月18日現在)

翔 : 茨城県神栖市・千葉県旭市付近 (2022年4月18日現在)

きずな : 静岡県浜松市付近 (2022年5月6日現在)

ひかる : 栃木県栃木市・小山市付近 (2022年5月11日現在)

ヤマト : 千葉県野田市付近

カズ : 千葉県野田市付近 (2022年5月15日現在)

レイ : 栃木県栃木市・小山市付近

たいよう : 茨城県神栖市付近 (2022年3月21日現在)

リン : 茨城県龍ヶ崎市付近

ミズキ : 茨城県神栖市付近 (2022年3月12日現在)

※「未来」「ひかる」…GPSが不通

「翔」「きずな」「カズ」「ミズキ」…GPSの脱落を確認

「たいよう」…最初からGPS未装着

## ●「コウノトリと共生する地域づくり推進協議会」の概要

○設立年月日 平成24年8月1日

○協議会設立の目的

野田市におけるコウノトリの安定的な生息が可能となる「自然と共生する地域づくり」、コウノトリをシンボルとした「地域振興」と「環境教育・環境学習」の推進を通し、地域の生物多様性の保存・再生・創造等に資することを目的とする。

○役員など

会長は野田市長が務め、各役員は農業や商工関係者、教育関係など多様な組織の委員で構成する。

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・直通 04-7199-8147

代表 04-7125-1111 (内線 2692)

野 田 市